

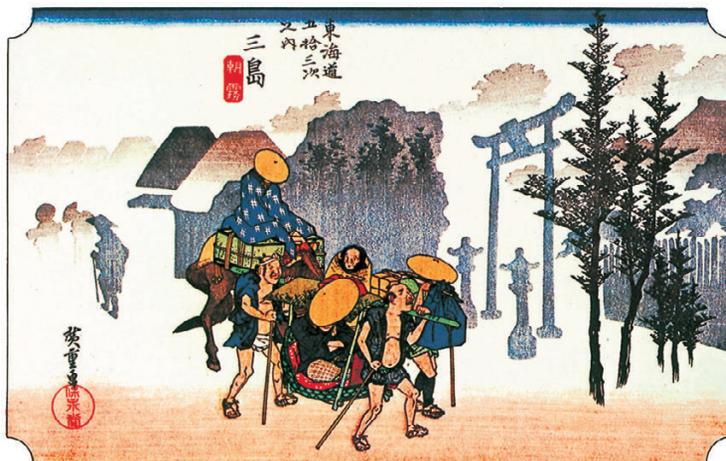


R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2092号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 栗原 達治 幹事 藤江 康儀



広重版画より 三島 朝霧

第2155回例会

2017.3.23晴

司会

柴崎恵子君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」
指揮 古川喜仁君

会長挨拶

会長 栗原達治君

改めまして、皆さま、こんにちは。ゲストの『日本盲導犬総合センター』の池田様、良くいらっしやいました。本日の卓話、よろしくお願ひいたします。

おかげさまで、苗栗RC創立46年記念式典及び、第13次姉妹クラブ再締結式に会員・家族・事務局総勢15名が参加し、無事帰ってまいりました。交換中学生の6名と付添の国際奉仕委員会の方は、まだ帰国なさっておりませんが無事の帰国を願っております。苗栗では若い世代の会員家族、DENKIさんの息子Ken君、PVCさんの息子さんも、日本留学の経験があり、日本語ができるため、私たちも、中学生も意思の疎通がよくでき、大変行動が楽でした。台湾でも世代交代がありましたが、日本でも3月18日はPETS(会長エレクト研修セミナー)が行われ、いよいよ次年度への準備が始まりました。

来たる4月21日の三島西RC創立45周年特別例会には、苗栗市から総勢60名を超えるお客様が見えるとの事、熱烈歓迎のお返しをしたいと思いますので、会員の皆さま、奥様のご出席をよろしくお願ひいたします。



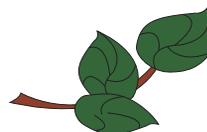
“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 池田義教さん(日本盲導犬協会)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	39/44	88.64%	40/44	90.91%
今回	31/41	75.61%	会員総数	47名

欠席者 赤池君、遠藤(正)君、川名君、窪田君、橋本君、古屋君、前田(博)君、森崎君、矢岸君、矢野君



幹事報告

幹事 藤江康儀君

- ①職場見学三島市議会傍聴ご苦労様でした。
- ②地区協議会 焼津文化会館 4月2日(日)
バスはせせらぎ三島RCと相乗り
楽寿園北口午前7:45分集合
- ③45周年式典出席要請
4月21日(金)16:00三島プラザホテル
- ④黄色い帽子・黄色いバック寄付者へ御礼
- ⑤分区再編成 様子を見守る。
- ⑥ブケ東海三島3月終了、次回より呉竹
- ⑦ゆめワーク三島生徒受入れ要請
- ⑧ホテル昭明館へ生花贈呈

2016~2017年度
国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

人類に奉仕するロータリー

おめでとう

入会記念日 遠藤(武)君
奥様誕生日 米山君
結婚記念日 長田君、小野君、野田君、
平野君

スマイルボックス

◆栗原君・関本(文)君・須田君・佐野君・遠藤(武)君・遠藤(正)君・遠藤(眞)君・宇都宮事務局、苗栗RC創立46周年記念及び第13次姉妹クラブ再締結式に総勢15名、内会員、事務局8名にて参加してきました。当日の昼は東南RC、Tonyパスト会長主催の昼食をいただき、熱烈歓迎に興奮したまま式典に臨みました。式典も盛り上がり、3500地区Nickガバナーエレクトとも盃を交わしてまいりました。わが三島西RC45周年記念にも参加いただけるとの事です。



- ◆小野君、結婚70周年で記念品をいただきました。家内90歳、私93歳、もう少し皆さまに御厄介になります。
- ◆藤江君、先日、お袋の葬儀に際しまして、会員皆様方のご厚意に接し、厚く御礼を申し上げますと共に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。また、先日、黄色い帽子・黄色いバッグ贈呈式、新聞に掲載されました。栗原会長・亥角G補佐・西本様・宇田川様・矢野様・須田様、ご寄付ありがとうございました。幼稚園児・保育園児が安心して安全に通えることと思います。ありがとうございました。
- ◆伊丹君、本日常館の4Fで歌謡ショーに出演のため欠席させていただきます。75歳の身体にムチ打ってます。
- ◆ゴルフ同好会、3月12日(日)にゴルフコンペを沼津ゴルフクラブにて開催しました。優勝川名さん・準優勝千葉さん・3位矢岸さんでした。次回は、4月16日(日)大仁カントリークラブで行います。

卓話

盲導犬育成事業について

池田義教さん



皆さま、こんにちは。公益財団法人日本盲導犬協会・普及推進部の池田義教と申します。今回は貴重なお時間を頂戴いたしまして誠にありがとうございます。

『盲導犬育成事業の現状』をテーマにお話しさせていただきました。道路交通法上では、視覚障がい者が道路を通行する時は、政令で定められた杖もしくは盲導犬を連れていなければならないと定められています。加えて、見えている方(ご家族)に誘導してもらおう手引きという方法がございます。つまり、視覚障がい者の歩き方は白杖・盲導犬・手引きの3つです。全国に80万人以上いる視覚障がい者の方々は、ご自身にあった方法を選び外出をされています。

盲導犬が日本全国で実働している頭数は966頭(2016年3月31日現在)です。盲導犬を希望している方は推計3000人おられます。希望に対し実働頭数が3分の1程度しかないというのが現状です。盲導犬の訓練の中では、候補犬の適性を考えながら訓練を行っておりますが、盲導犬として視覚障がい者の元へ行くのは約4割程度です。向き不向きを考えた結果、約6割ほどの犬達は盲導犬ではなく、一般家庭の家族の一員として迎えて頂いております。また、盲導犬は弊協会では、視覚障がい者への無償貸与という形で盲導犬の約2歳から10歳までの約8年間、貸与をしております。その育成費用の90%以上が多くの皆様からの温かいご寄付や募金により支えて頂いております。皆様からの浄財により支えて頂いているという特性上、財源が安定しないという現状がございます。

2002年には身体障害者補助犬法、2016年には障害者差別解消法が施行し、障害者福祉に少しずつ関心や理解が広まってきているとは思いますが、盲導犬の同伴を飲食店等で拒否されることが後を絶ちません。盲導犬は単なる犬ということではなく、視覚障がい者の歩行をサポートする役割を持っているということを是非理解していただけたらと思っております。今後とも盲導犬や視覚障がい者への理解促進に皆様のお力添えを頂けましたら幸いです。何卒、宜しく願い申し上げます。

※表彰は後日掲載します。

(週報担当:佐野宏三)